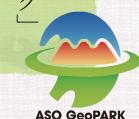


# 世界に誇る阿蘇の大・自然を満喫しよう!

世界最大級のカルデラが生み出す特有の地形と景観。他では味わうことのできない阿蘇ならではの大・自然を思いつきり遊ぼ♪

阿蘇は世界に認定された「ジオパーク」



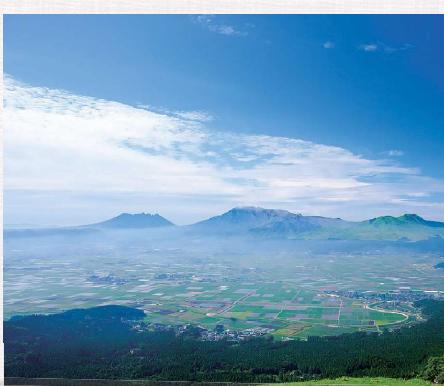
阿蘇ジオパークを象徴する

「巨大カルデラ」

ジオサイト

阿蘇五岳やカルデラを見渡せる

## 阿蘇市おすすめ



素晴らしい自然を有する阿蘇は、世界に認められたユネスコ世界ジオパークです。ジオとは、「地球」や「大地」のこと。ジオパークでは、地球規模の噴火など特に重要な、そして美しい地質遺産などが数多く点在し、またそれに繼わる神話や歴史、人々の暮らしの遺産を楽しむことができます。現在、日本には44地域の日本ジオパークがあり、うち9つがユネスコ世界ジオパークとして認定されています。阿蘇は2014年9月に日本で7番目のユネスコジオパークとして認定されました。



### 日本にあるユネスコ世界ジオパーク

- 洞爺湖有珠山ジオパーク
- 室戸ジオパーク
- 糸魚川ジオパーク
- 隠岐ジオパーク
- 島原半島ジオパーク
- 阿蘇ジオパーク
- 山陰海岸ジオパーク
- アポイ岳ジオパーク
- 伊豆半島ジオパーク

カルデラとはスペイン語で「大きな鍋」という意味。阿蘇ジオパークの象徴でもある「阿蘇カルデラ」は、東西18km、南北25kmという世界有数の大きさを誇ります。阿蘇火山はおよそ30万年前から4度の巨大噴火を繰り返していますが、このカルデラを作りあげたのは今から約9万年前の大噴火。その時の火山灰はなんと北海道まで届いたのだそう。

阿蘇は、巨大なカルデラの中に約5万人の人々が住む、というとても珍しい場所。湧水、温泉、伝行事など、人々の暮らしは火山の恵みとともにあります。

カルデラを中心とした8市町村にまたがる、広大な阿蘇ジオパーク。ジオパークには、至るところに見どころとなるジオサイトが存在します。人々を魅了してやまない数々のスポットをぜひ堪能してください。



## 豊後街道の名残を残す



1 大観峰  
ふたみのとう

巨大な噴火によって陥没した絶景を見渡せる屈指のビュースポット。伝説の姿に例えられる阿蘇五岳も見渡すことができる。古くは「遠見ヶ鼻」と呼ばれていたが、昭和7年(1932年)、徳富蘆峰により「大観峰」と命名された。カルデラ全体が観察できる第一級のスポット。

## 3

國の名勝及び天然記念物  
草千里ヶ浜



牧歌的な風景が広がる  
目の前に噴煙を上げる中岳を望む「草千里ヶ浜」元は火口だったという当地は、直径約1kmの広さを誇る草原中央には大きな池があり、放牧されている馬がのんびりと草を食み水を飲む牧歌的な風景を眺めることができます。

## 殿様お墨つきの御茶屋跡



殿様お墨つきの御茶屋跡

## 1 牧歌的な風景が広がる

## 2 草千里ヶ浜

阿蘇五岳のひとつ「高岳」の中腹にある峡谷で、流出した溶岩が作り出す岩場の景觀が特徴。一方この一帯は厳しい環境にも強い野生のミヤマキリシマの群生地。毎年見頃を迎える5月には5万株もの花が峡谷内を彩ります。

## 3 仙酔峠

阿蘇五岳のひとつ「高岳」の中腹にある峡谷で、流出した溶岩が作り出す岩場の景觀が特徴。一方この一帯は厳しい環境にも強い野生のミヤマキリシマの群生地。毎年見頃を迎える5月には5万株もの花が峡谷内を彩ります。

## 4 的石御茶屋跡

御茶屋とは熊本藩が設置した藩主の休憩所のこと。先に紹介した「二重峠を越える際の休憩所」として設けられたのがこちらの御茶屋。的石といふ地名は、健闘龍命が杵島岳の上から弓を射た時に的にした「巨大な岩」の石があることにちなんでいる。

## 5 仙酔峠

阿蘇五岳のひとつ「高岳」の中腹にある峡谷で、流出した溶岩が作り出す岩場の景觀が特徴。一方この一帯は厳しい環境にも強い野生のミヤマキリシマの群生地。毎年見頃を迎える5月には5万株もの花が峡谷内を彩ります。

## 6 阿蘇神社

普段、阿蘇山は神の宿る山として崇められ、火山活動などの異変は「天下の凶事」とされていた阿蘇開拓の祖・健闘龍命は火の山の神であり、主神とする阿蘇神社は次に国家的な崇拝していく。人々の火山信仰と歴史に触れることができるスポット。